

# JWTC NEWSLETTER

November 2010

## 40周年に向かって

日本旅行業女性の会 会長

戸井川 裕美子



皆様のおかげで、当会も30周年をむかえることができました。会を創立した諸先輩の方々、長い間運営を支えてくださったOG会員の皆様、そして様々な支援、ご協力をしてくださった旅行業界の皆様を代表し心からお礼申し上げます。

この30年間、旅行業界とそれをとりまく環境も大きく変わりました。通信ひとつとってもテレックスからファックスへ。そして今インターネットで瞬時に世界と連絡がとれるようになりました。海外へ行きにくい時代は終わり、お客様はインターネットで情報だけでなく予約までとり、気軽に海外へ出かけるようになりました。それに伴い、私達の仕事の内容も職場環境も変化しました。

しかし、どんなに環境が変わろうと、旅に出かける人の気持ちは変わらないのではないのでしょうか。行く前のわくわくするような期待感、現地では会う人々、景色や文化への感動、そして帰ってきてからの多くの思い出。人はそれを求めて旅

にでます。そして旅はまちがいなく人を元気にし、幸せにします。

30周年を迎え、これから40年にむかってスタートするに当たっての私達のテーマを『未来へつなごう 旅のしあわせ』と決めました。旅が人を幸せにするということはどんな時代にも変わらず、幸せになるような旅を提供するのが私達の役割であるということに大事にしたいと思います。

Next Door 2010、いよいよ2020年にむかって新しい扉をあけます。そこにどんな世界がまっているかはわかりません。たとえどんな大きな変化がおころうとしなやかにたくましく。旅行業界の中のささやかな会ではありますが、皆様と一緒に日本旅行業女性の会は未来へ旅のしあわせをつなぐために歩き出したいと思います。

ぜひとも今までどおり、いや、今まで以上にご支援くださいますようお願い申し上げます。ピコツアー・株ピコ 代表取締役

## JWTC30周年を祝して

株式会社ワールド航空サービス

代表取締役社長 菊間 潤吾

日本旅行業女性の会（JWTC）が創立30周年を迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げます。

長年にわたり会の運営に携わってこられた皆様のご尽力と情熱に敬服いたしております。

世界の観光先進国を見ると、旅行業において女性の管理職が大多数を占めていることからわかるように、そのホスピタリティの感性やクリエイティビティでもって、女性がリーダーシップを持って臨む時代が到来しております。成熟した日本のマーケットにおいて、この2つの要素がこれまで以上に強く求められていることは火を見るより明らかでしょう。各団体や委員会の構成に女性の登用が異常なほど少ない現状をなんとか打破しないと、時代に取り残されると感じている経営者はたくさんおります。

旅行業に従事する女性にとって、自社の枠を越えて他企業の人々との交流を深め、視野を広く持つことの重要性を否定される方はいないでしょう。しかし、それを現環境の下で、実践するのはなかなか容易なことではありません。その中で、

JWTCの存在は実に意義があることであり、同じく旅行業の発展を志す者として心強く感じている次第です。

20数年前、JWTCが婦人の会と名乗っていた頃、私は若気の至りで、業界にいろいろな団体があるが、最も近寄り難く、恐くて保守的なのは婦人の会じゃない……と影口を叩いているのを当時の幹部の方に聞かれて大目玉をくらったことがあります。

最近はずっかり開放的でやさしくなったと聞き及び、手をふるわせながらこうして拙文を書いておりますが、JWTCにもっと多くの人々が集まり、そして会の内だけでなく対外的な交流をより深めていくことによって、存在感を倍増させ、メンバーの方々が業界の様々な分野で活躍される日を楽しみにしております。

JWTCが30周年をひとつの節目として次なるステージでよりいっそう活発に活動され、発展されることを心より祈念し、お祝いのご挨拶とさせていただきます。

# JWTC年表 2006～2010

## JWTCの活動

開催日	活動内容
<b>2006</b>	
2.18	第26回総会
4	勉強会 バルト三国 講師：(株)ツムラーレコーポレーション 服部秀樹氏
5.16 (名)勉強会	アロマセラピーで元気をもらう 講師：アロマテラピスト 小池 光代氏
6.29	懇親会 スペインワインとジプシーバイオリン (演奏：天野紀子氏)
9. 2	勉強会 「マンダリンオリエンタル東京」見学会
10. 5 (名)勉強会	ドバイデスティネーションセミナー 講師：ドバイ政府観光・商務局 中谷リナ氏
11. 9	勉強会 世界と日本のクルーズマーケット 講師：パシフィックツアーシステム 相師英夫氏
12. 2	親睦会 杭州・紹興とフォーチュンリゾートの旅
<b>2007</b>	
2.17	第27回総会
3.15 (名)勉強会	中部国際空港における税関業務と空港の概要について 講師：財務省 名古屋税関 中部空港税関支署 広報広聴専門官 土保嘉樹氏
5.30	勉強会 ロングステイで豊かな人生を 講師：ロングステイ財団評議員 千葉千枝子氏
6.23	親睦会 風林火山の舞台 山梨探訪
6.27 (名)勉強会	超高齢化と医療 講師：国立長寿医療センター 総長 大島伸一氏
10. 6	勉強会 「ザ・リッツ・カールトン東京」見学会
10.10 (名)勉強会	デスティネーションセミナー 南アフリカ 講師：(株)プラネット・ツアー・サービス 川上剛貴氏
11.20	勉強会 マカオの魅力・新しいマカオ・伸び続けるマーケット 講師：マカオ政府観光局代表 榊原史博氏
<b>2008</b>	
2.23	第28回総会
3.18 (名)勉強会	ロングステイ事業について～課題と問題点～ 講師：(株)エヌティアドバイザーズ代表取締役 熊崎直子氏
5.30	勉強会 人と自然とちょっと冒険 講師：女流登山家 小倉董子氏
6.14 (名)勉強会	名古屋再発見
6.21	親睦会 蓼科で旬の高原野菜を味わい尽くすツアー
9.19	安西美津子元会長「日本国際ツーリズム殿堂」入り
10. 8	勉強会 「ザ・ペニンシュラ・東京」見学会
10.22	安西元会長「日本国際ツーリズム殿堂」入りを祝う会
11.11 (名)勉強会	中国の現状とデスティネーションセミナー海南島 講師：(株)ピコ代表取締役 戸井川裕美子氏
12. 5	親睦会 中国広州・海南島の旅 (各2泊)
12.18	勉強会 クリスマス会～シルクロードのタベ～
<b>2009</b>	
2.21	第29回総会
3. 8 (名)勉強会	「志摩観光ホテルベイスイート」見学
6. 2	勉強会 夢を実現する自分に出会う方法 ザ・レジェンドホテルズ&トラスト(株)代表取締役 CEO 鶴岡秀子氏
6.20	親睦会 名園散策&ベテランガイドと行く下町ドライブ
7. 2 (名)勉強会	北京友誼賓館ひとり暮らしで考えた女性の生き方 講師：元JWTC名古屋支部会員 小池晴子氏
8.27	特別勉強会 働く女性のための食生活 講師：栄養士・料理研究家 高城順子氏
9. 5	特別親睦会 神戸応援ツアー
10. 3	勉強会 「シャングリ・ラ ホテル東京」見学会
12.11	勉強会 クリスマス会～モンゴルのタベ～ 講師：(株)モンゴル旅行ジャパン代表取締役 アリウナー・トゥムルバートル氏
<b>2010</b>	
2.27	第30回総会 & 懇親会 (歌手ムーラン氏のライブ)
4.24 (名)勉強会	半田市・常滑市探訪
6. 4	勉強会 デスティネーションセミナー 南アフリカ 講師：南アフリカ観光局 近藤由佳氏
6.26	親睦会 小江戸佐原と房総の海の幸満喫の旅
8. 5	特別勉強会 ハツラツ元気に見えるメイクのしかた 講師：トータルビューティーアドバイザー 仁くすのき氏

(名)名古屋支部



「マンダリンオリエンタル東京」見学会 (2006.9.2)



風林火山の舞台



安西美津子元会長



安西元会長の「日本国際ツーリズム殿堂」入りを祝う会 (2008.10.22)



第29回 JWTC 総会 開催 (2009.2.21)



運営委員会



会員部



総務部

広報部



山梨探訪 (2007.6.23)



広州・海南島の旅 (2008.12.5)



クリスマス会～シルクロードのタペ～ (2008.12.18)



勉強会「夢を実現する自分に出会う方法」 (2009.6.2)



神戸応援ツアー (2009.9.5)



事業部



名古屋支部

## 2006

- 2月：冬季トリノオリンピックで女子フィギュアスケート荒川静香がアジア初の金メダル  
神戸空港開港
- 3月：第1回WBCで王監督率いる日本が優勝  
新北九州空港開港  
IC旅券発行開始
- 5月：インドネシア・ジャワ島中部ジョグジャカルタでM6.3の地震が発生、死者5500人  
サッカーワールドカップドイツ大会開催
- 9月：秋篠宮紀子さまが長男悠仁さまをご出産

## 2007

- 1月：不二家が洋菓子販売休止、老舗「赤福」など偽装相次ぐ
- 3月：能登半島沖で震度6強の地震発生、死者1人、重軽傷者170人  
LCC（ローコストキャリア）ジェットスター 開空/オーストラリア就航
- 4月：「国民の祝日に関する法律」の一部改正。4月29日→「昭和の日」 5月4日→「みどりの日」
- 7月：新潟・長野で震度6強「新潟中越沖地震」が発生  
石見銀山遺跡とその文化的景観、世界遺産に登録
- 10月：郵政民営化がスタート
- 11月：「YOKOSO! JAPAN WEEKS」開催を記念して切手発行

## 2008

- 1月：中国製冷凍ギョーザ事件
- 3月：チベット自治区ラサで暴動
- 4月：日韓観光交流年スタート
- 5月：ミャンマーのサイクロン  
四川大地震発生
- 7月：北海道・洞爺湖サミット開催
- 8月：北京オリンピック開催
- 9月：リーマン・ブラザーズ経営破たん
- 10月：観光庁創設

## 2009

- 1月：米国電子渡航認証システム（ESTA）義務化  
バラク・オバマ氏が第44代アメリカ合衆国大統領に就任
- 4月：新型インフルエンザ発生  
裁判員制度がスタート
- 7月：中国の富裕層を対象に個人観光ビザの発給を開始  
日本で46年ぶりに皆既日食が観測
- 10月：日本航空「企業再生支援機構」の下で再生へ

## 2010

- 1月：カリブ海ハイチでM7.0の強い地震発生、数十万人に及ぶ死者
- 2月：バンクーバー冬季五輪開催
- 4月：宇宙飛行士・山崎直子さん搭乗のスペースシャトル「ディスカバリー」が打ち上げ  
アイスランドで火山噴火
- 5月：中国で上海万博開催
- 6月：南アフリカでサッカーワールドカップが開幕
- 7月：中国人観光客向け個人ビザの発給要件を大幅に緩和
- 9月：領有権を巡り日中間で尖閣諸島問題勃発
- 10月：チリ鉱山落盤事故で生き埋めになった33名、69日ぶりの奇跡の生還  
羽田空港新国際ターミナルオープン  
円高に加速、15年半ぶりの80円台

## JWTC30周年によせて

初代会長 安西美津子 元(株)ジェイティービー

1周年記念パーティーの会場。「何だ!? この男だらけの会は」と、招待された男性は自分だけと勘違いして参加された方。

3周年記念に際しては、「3周年パーティーをやるとは思わなかったなあ。それにしてもよく続けたなあ」と呆れ顔でお祝金を下さった方。

それ以後の周年パーティーには「この会に出席すると、普段なかなか会えない人々に会えるんだなあ」と、鼻の下を長くして参加する振りをしながら、仕事を大きく発展させ、充実させておられた方々。

JWTCとしては、運輸省・労働省・航空各社・旅行業関連各社の経営者・管理職をお招きして人間関係作りのお役にたてたと、自負しながら資金集めに一喜一憂をした、記念パーティーがなつかしいこの頃です。

1985年から86年は雇用の場において、女性のこれからを決めた大転換の年でした。女性の会として労働省のヒヤリングに応じ、参議院労働委員会、口述人にも立ちました。

今、女性の添乗員・海外勤務者・管理職・経営者にお会いする機会に恵まれる度、組織力として活動できたことを嬉しく思い返します。

同業者の集まりは数年もすると閉息感に悩まされると聞いています。「旅行関連」という緩やかな結びつきが30年という長い活動につながったと、認識しています。

会の運営についても、小じんまりと纏まるのではなくて、新しいこと、不可能と思うこと、更には他の国々との連携も視野に入れた活動をする会であることを期待します。

## JWTC 誕生前夜の感激

第2代会長 鈴木 光子 オフィス・ロマンディー代表  
元 スイス政府観光局

1980年のはじめに見られた、旅行業界で初めての女性だけの横断的な組織を目指す動きは、個人の努力から始まりました。すでに同様の国際組織は存在しており、情報の早さとネットワークの良さでは誰にもひけをとらない旅行業界のこと、あつというまに8人のベテランが、サッチャンこと多田幸子さんの呼びかけに応じて、そのオフィスに集合したのがJWTCのルーツです。

その日の会話の記録は詳しく残されていますが、すでに一家をかまえる社長あり、同時期に登場した女性初の支店長、部長、課長などなど、ほとんどが初対面の間柄でありました。

それぞれが語る経歴、珍談奇談、苦労話は実に興味深く、日本航空の初飛行の話や、イタリアの列車の中で捨て子をされた話などを、いまでもおかしく思い出します。

全員、正真正銘のプロフェッショナルでありながらとても人間くさく、女性独特の物事へのアプローチと素晴らしいユーモア精神を兼ね備えていました。

創立から8年を経て2代目会長選出の時、スイス政府観光局長という立場では業界への影響力が不足なのではという懸念をクリアできたのは、発足時に生まれた会員相互の強い連帯感があったからです。

現在の会員には大手会社が少なく困るという危惧はどうか捨てて欲しいと思います。当初から、会員一人一人が持つ活力、魅力を愛し、お互いに交換しつつ、前と上を向いて歩いてきたのがJWTCなのですから。

## JWTC 会員の頃

第3代会長 倉光 祥子 元(株)阪急交通社

JWTCも30周年を迎える。おめでたいことだ。

10周年記念誌が手元にあるが、写真を見ると皆が丸い顔をしていて若々しい。JWTCという会として正式に発足するまでに3年くらいの準備期間があった。この10年誌は1980年からの10年間を中心に取り上げてはいるが、座談会その他の記事でそれ以前の業界について知ることが出来る。私は当時副会長ではあったが、編集の実質的責任者だったので、自画自賛といわれるだろうが、業界の昔、特に渡航自由化の1964年4月以前について知るには業界にこれ以上の資料はない。(誰も現時点では必要としていないかも!!)

また、JATA Congressのパネリストの役も印象的な経験だった。会員の事前の討論で取り上げることに決定した「旅行商品に現れる女性の生き方の変化」といったような内容だった。「働く女性」特に「子供を持って働く女性」にスポットを当てたようなものだった。私にとっては「子供を初めて産む」という体験と「子供が出来たという理由でなぜ女性だけが仕事をやめなければならないのだろう、やめるということは今まで一生懸命学んだことが無になることだ。男性は子供が出来ることによって仕事をやめるか続けるか悩んだこともないだろう。それはまったく不平等だ。自分に意志があれば道は開かれるだろうか」という素朴な意識の中でいろいろ悩んだ30年位も前からのテーマだった。

今はJWTCの中でもかなりの会員が「お母さん」であり、PTAや地域の活動にも時間とエネルギーを使っていると思われる。時代は変わってはいても依然として女性には大変なことだ。そのうちに老親の介護の問題も出てくる。同じくらいの年代の会員が多いので職場では話せないような内容でもわかり合えるのがJWTCだった。職場を離れて10年以上も経ったのに時々会う楽しみも依然続いている。

お互いに励ましあいながら一步一步進んで下さい。人間として、女性として、職業人として!!

## 設立前夜のこと

第4代会長 西鳥羽洋子 (株)ウエンズ代表取締役社長  
元(株)ジェイティービー

あつという間の30年。

設立を前に、業界の先輩達と呼びかけ人の多田さんのオフィスで夜遅くまで、侃々諤々議論した日の光景を、30年以上経った今も昨日の事のように思い出す。

70年代の終わり、東急観光が女性ばかりをスタッフに、前田周子さんを所長にオープンしたのがマスコミに取り上げられ、追いかけるようにJTBも安西美津子さんを虎ノ門支店長に。一般紙も大きく取り上げて、いよいよ80年代は女性の時代と喜んだのを思い出す。

そんな時に、業界のベテランの女性達が集まって「業界女性の会」の設立となった。旅行会社、航空会社、オペレーター、政府観光局のバリバリの第一線の先輩女性達は、未だその頃若かった私には、本当にまぶしかった。

あの頃も皆、忙しかったけれど、旅行業界も元気だった(と思う)。皆、会員を増やすことに必死で熱心だった。あつという間に会員も増えた。何といたっても横のつながりがひろがったのは心強く、仕事にも大いにプラスになった。私など、その後その仲間と旅行会社を作ってしまったのだから、この会との関わりは私の人生にまで及んでいる。

あれから30年。あの時の先輩達のエネルギーを、今でも見習いたいと思っている。

## JWTC30周年によせて

第5代会長 木島 榮子 (株)クルーズバケーション 代表取締役  
JWTC30周年おめでとうございます。

私が5代目の会長となったのは忘れもしない1998年2月の総会の時でした。

というのは、1998年2月3日に当時弊社の100%の株主であった親会社、ジェットツアーが倒産してしまったのです。倒産したその日に何とか独立しましたが、その処理に疲労困憊したまま総会に出席し、会長職を引き受けました。

当時はバブル崩壊後も遅々として経済回復が出来ず失われた10年と言われていた時代でした。旅行業界全体にもこの影響は及び、リストラや外資系企業の撤退等が相次ぎ、JWTCもその影響を受け、退会していく会員が増えていきました。

そのような時期に明るい話題はJWTC20周年記念を祝えたことです。当時IBMの役員をされていた、内永ゆか子さんをお迎えし、講演をして頂きました。企業で活躍する女性の代表ともいえる彼女の話はJWTC会員のみならず、ゲストとして参加された男性の方にも示唆に富んだものでした。女性の職場での活躍を促進するためのメンター制度の確立のお話等大変興味あるものでした。私が会長をしていた6年間の間にも、男女雇用機会均等法が定着してきて、以前ほど女性だけの集まりに意義や興味を抱く人が少なくなってきたのではないかと思います。

時代は刻々と変化し、ニーズも多様化しています。JWTCも時代に即した形で変化発展していったらいいと思っています。



## 30周年に思う

第6代会長 長野 久絵 財団法人東京都公園協会  
元(株)オーエムシーカード

現会長にバトンタッチしたのは2年前なのに業界を取り巻く環境は加速度的に変化している。

なんとといってもオンライン旅行市場の拡大は目覚しく、業界紙によると、ここ5年ほどの間に取扱額は倍で、はや1兆円強。市場規模の14%にもなるそうだ。人手を介さない申込みが多くなったせいか、雇用形態も変化を遂げて正社員率は下がる一方らしい。仕事柄、旅行会社でいきいきと働く若い女性達に接する機会が多いが、契約社員だったりアルバイトが多い。

会長を拝命した2005年は男女雇用機会均等法施行20年の節目の年だった。それからさらに5年たったが、役職者の賃金構造基本統計調査によると女性係長は11%。部長にいたっては2.7%しかいない。業界の水準はさらに低いと思われる。

おりしも先日発表になった世界経済フォーラムの社会進出や政治参加における性別格差ランキングで日本は134カ国中94位。主要先進国中最下位。女性が企業のトップや役員になると依然として「女性初の〇〇」と女性であることがニュースになる。

だからというわけではないが、JWTC歴代会長をはじめ会員の中には起業される方が何人もいらっしゃる。女性のしなやかさとしたたかさを存分に発揮されて、旅行業界で活躍されているリーダー型の会員が多い。

自らは調整役と任じているが、ここで培った人間関係は得たいものがある。業種も雇用形態も設立当時に比べると多様化している現在、いろいろな立場の会員を増やして次世代に繋げ、会として何かしら発信していけるようこれからも微力を尽くしたいと思う。

## 名古屋支部 創立20周年

JWTC名古屋支部長 草次 昌子

(株)リッチトラベル



JWTC創立の頃。30年前の私はまだ学生でした。女性が働くといっても結婚までの腰掛ぐらいに思っていました。

その10年後、名古屋支部創立の頃。現在の会社に途中入社し2年目の私は、新しい仕事に無我夢中の毎日でした。悩みはあったらうか?自分では責任感を持っていたと思うが、同僚や上司のサポートがあり、まだまだ甘えの中で仕事ができている頃であったと思います。

名古屋支部創立10周年の頃には、ビジターで勉強会に参加させていただいていました。会の目的も知らず、ただその場にいたといった感じでした。名古屋支部10周年の盛大な記念パーティーでは、女性のパワーに驚き、私とは違う世界の人たちのように思えました。正式に入会しても、「会について行けないようだったら退会すればいい。」と軽い気持ちでした。

そして10年。キャリアを持つ女性の魅力に刺激を受

け、諸先輩方に一歩でも近づきたいと願うようになりました。自信をなくし、目標を見失いかけていた自分にアドバイス、勇気を与えてくれました。そして、今後の自分を見つめ何ができるのか考えた時、何か役に立ちたいと思うようになりました。

そんな時、支部長の大役を受けることになりました。私に何ができるかわからないけれど、とにかくやってみようと思い、4年がたとうとしています。名古屋支部の結束力は自慢です。

名古屋支部も20周年という節目を迎えました。会員数が減り支部として活動するには大変厳しい状況にあります。力の無さに諸先輩方の偉大さを強く感じます。くじけることも多々あると思いますが、人と人とのつながりの大切さを教えていただいたこの会で、次の人たちとも出会い、つなげていきたいと思っています。



業界の知人が少なく狭い世界にいた私にとって、JWTCは世代や業界を越えた交流を持って広く教えを受けられる貴重な存在。30年の長きにわたり先輩方が会を運営してきて下さったおかげです。

名古屋から転勤してきた時も、JWTCに入会していたおかげで、東京でのネットワークを広げる事ができました。転勤後も支部の仲間より励ましをもらい、JWTCの存在に本当に感謝しております。

新入会員が増えるよう、我々現会員が自らの声で活動の魅力を語り、この先10年、20年と会の発展に貢献できるように努力して参ります。

狩野知保 (株)クオリタ

業界の大先輩や経営者としての先輩方など、とても普通ではお知り合いになれなかった方々と気軽に話が出来ることがあることは本当にうれしい限りです。また、総務部に加えていただき、運営委員会や部会後の飲み会の楽しいことったら。同業種とはいえ立場も実務も多種多様にわたり、悩みの共有や逆に同じ業界にいながら知らなかった話、あるいは業界を外れた女性ならではの話題とか時間を忘れて話しこんで、毎回楽しみにしています。

業界内の女性の立場向上とか、ジェンダーフリーやダイバーシティの推進活動とか、会として重要な役割はあるでしょうが、まずは肩肘張らず、楽しくほっと出来る会であればいいんじゃないか、と私は思います。先輩方が30年かけて敷いていただいたレールを外れることはありませんが、時代にあわせて軌道修正しながら次の40周年を目指してご一緒させていただきたいと思っています。

田中睦代 (株)メキシコ観光

入会当時は緊張の連続で、その上2年目で広報部の部長などという大役を任されてしまい、辞めたいと思ったことも多々ありましたが、今思うことは辞めないで良かった！です。

入会当時は男性と差別されていたことに対する古い言葉ですがウーマンリブ的な発想が残っていたような気がしますが、今は女性のしなやかさや繊細さとか女性らしさを強調していこうとする発想のもと、とても興味ある勉強会などが行われているように思います。

この会に入っているからこそ業界で活躍している素敵な仲間に出会うことがやはりもう一つの素晴らしいメリットだと思います。旅行業界の価値ある女子会として、微力ながらこれからも広報部の一員として貢献していけたらと思います。

根本 恵 ホテルグランパシフィックLE DAIBA

私が入会した年に飛鳥船上で15周年記念パーティが開催され、お客様の誘導係を仰せつかりました。あれから15年。当時ニュー・サウス・ウェールズ州政府観光局に勤務していた私は「井の中の蛙」にはなりたくないとの思いからJWTCに入会し、会員部に所属し現在に至っています。

私の15年間を振り返ってみると多くの仲間に支えられて今日があるという思いです。苦しい時、辛い時悩みを打ち明け、励まされ、共有してもらえたことは本当に言葉に表せないほどの感謝です。

僭越ですが、そんな私から入会して間もない方や、これから入会を考えている方へ伝えたいことは、自ら求めなければ先に進まないこと。常に前向きに、積極的に取り組んでもらいたいことです。入会したからには部に所属し、勉強会、親睦会などを通して、多くの仲間と得難い交流を持って欲しいことです。

田邊真利子 エジプト大使館エジプト学・観光局

弊社も会社設立100周年を迎え、創設者の力強さと想像力に夢を感じますが、会を作られた先輩方の熱意には憧れを抱いています。今の私の仕事は、会社や地域に、将来何が求められるかを、探し創ることです。会で多くの方からお話しを伺い、「思い」を学び、吸収し形にしたいと考えています。そして、継続し、走り続けることはさらに違うエネルギーが必要です。皆様と一緒に走れるよう、成長する努力を続けたいと思います。

田中恵理 京王電鉄(株)

「ね、名古屋支部を作ろうよ！」カナディアン航空名古屋支店の再開で、東京から帰った故岡田靖子さんが目を輝かせ言いました。

JWTC発足の時からのメンバー5名は1986年IFWTO太平洋地区東京大会で名古屋宣伝物を配り存在をアピール。そして1989年6名で「世界デザイン博」研修会を企画。

東京からも多勢参加していただき、名古屋の業界にJWTCを認識させることができました。まさに機は熟した、その翌年名古屋支部創立。初代支部長はもちろん岡田さんです。最多期会員数は28名。

20周年を迎えた名古屋支部ですが、今後も、人と人とのつながりを大切にする「和やか名古屋支部」であってほしいと思います。

名古屋支部 山口正恵

私とJWTCの出会いは約15年前、目的は同年代の方とのふれあい。JWTC発足とほぼ同年代にスタートした私の社会人生活ですが、業界を取り巻く環境が甚だしく変貌を遂げ、達成感と疲労感の繰り返しでした。入会後は行動範囲や人脈が広がり、知識を吸収することができ好奇心旺盛の私にとって有意義なひとときでした。

今は穏やかな雰囲気の中、心にゆとりが生まれ、益々色々なことに興味が湧いてきております。一緒にいるだけで気分が晴れる、又刺激を受ける。JWTCの仲間と楽しい時間が過ぎせればと思っております。

名古屋支部 三宅博子 日本運通(株)

久々に30年前の夢中で仕事にとりこんでいた日々を思い出しました。当時、私は仕事の関係でリソネ リンデマン社東京支店の多田幸子様とはよくお会いしておりました。ある日、多田さんは私のオフィスに見え「業界の女性ばかりの会を作ろうじゃないか」と提案なさり、それから私達数人の者は仕事が終わった後あちこちで集まり色々相談し、ついに会の創立にこぎつけたわけです。ですから、この会の創立発展については多田さんなしでは語れません。益々の発展をお祈りするばかりです。

OG 松木光江 (91歳になりましたが元気です)

1959年、郵船航空サービス株式会社旅客部勤務スタートの私。航空券販売が業務、収益は料金の9%の手数料のみ。後の付帯業務は全てサービスでした。海外観光旅行は夢の又夢の時代。殆どが官庁関係生産本部関係、商社の輸出入業務渡航に限られ、この小さな争奪戦に営業担当者は目をつり上げて走り回る毎日。女性で営業担当と名乗ったのは、私がハシリかもしれません。世間一般同業男性達のセクハラ言動には随分とイヤな思いもしました……。

あれから約50年！感無量です、皆さん存分に自分の力を発揮してくださいね！

OG 小林良子 (設立発起人)

個人も社会も「旅」から元気ももらっていた時代にJWTCが誕生し、そして30年を迎えたのです。

旅行業をとりまく環境がこの30年に全く変わってしまいました。苦勞して現地の資料をとり寄せることもなく、今は瞬時に居ながらにして料金、予約情報は言うまでもなく、バーチャル映像ですべてを紹介してくれる。まさに激変の30年、今は旅行業として存続することすら難しい時代を迎えて、JWTCはどうなって行くのでしょうか。

私の大好きな言葉は「旅は道連れ世は情け」。こんな時だからこそ思い出して欲しいのです。そして「一期一会」の心を持って旅をプロデュースして行って欲しいのです。

JWTCは貴重な存在です。しなやかな女性の感性を活かしながら新しい時代を築いて行ってください。

OG 前田周子